

学 会 記 事

§ 平成 24 年第 2 回日本核医学会理事会 議事録

日 時：平成 24 年 4 月 26 日（木）
15 時 00 分～19 時 00 分

場 所：タワーホール船堀 306 会議室

出席者

理事長：井上登美夫

理 事：伊藤健吾，絹谷清剛，汲田伸一郎，
小泉 潔，佐賀恒夫，阪原晴海，
佐々木雅之，宍戸文男，千田道雄，
玉木長良，畑澤 順，細野 眞，
松田博史，望月輝一，渡邊 浩

監 事：小須田茂，桑原康雄

幹事長：立石宇貴秀

事務局：神田正子

欠席者

理 事：尾川浩一，中川原讓二，藤林康久，
山崎純一

議 題

I. 審議事項

1. アジア研究奨励賞について

玉木長良理事より資料(1)に従い説明があり、承認された。

2. 理事選挙について

小泉潔理事より資料(2)に従い説明があった。定款を変更し、理事の定数を 20 名以上 25 名以内とすることで承認された。また、理事選挙について討議がなされたが、引き続き検討することとなった。

3. IAEA の取り組み

小須田茂監事より資料(3)に従い説明があった。トレーニングコース(RTC)は 2014 年 7 月に日本

で行われることが承認された。

佐賀恒夫理事および玉木長良理事より前回の RTC の経験で IAEA 推薦者は IAEA から、また、その他は外務省から資金調達できたことの説明があった。各国で帰国後の講習などで使用されるため、RTC 用ハンドアウトの完成度を上げておく必要がある。

4. (仮称) PET 治験懇談会の設置

千田道雄理事より資料(4)に従い(仮称)PET 治験懇談会の設置について説明があり、了承された。PET 治験懇談会への参加は、賛助会員の企業とした。

5. PET 治験国際シンポジウムの開催(案)

千田道雄理事より資料(5)に従い PET 治験国際シンポジウムの開催(案)につき説明があり、了承された。

6. 分子イメージング臨床試験ネットワーク

畑澤順理事より厚生労働省早期探索拠点プログラムにつき説明があり、分子イメージング臨床試験ネットワークの設立が承認された。

GMP 基準に従った臨床試験を実施する施設(東大、慶応大、阪大、国循、国がんセ)が決定されている。臨床試験のニーズを汲み上げて厚労省に訴えるために組織された。臨床スキームを構成するためのネットワークを作成し、分子イメージング戦略会議のもとに活動することで了承された。次回理事会にて具体案を提示する。

7. 医学物理士認定機構(JBMP)

小泉潔理事より資料(6)に従い説明があった。支持母体に当学会が入るかどうか討議がなされたが、推移をみることとなった。

8. 内用療法戦略会議

絹谷清剛理事より資料(7)に従い内用療法施設不足解消に向けて提案があり、了承された。

9. 医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME) への委員派遣等について

松田博史理事より資料(12)に従い説明があった。渡邊浩理事より患者への説明文書について、検査後の期間につき核種により細分化して記載することが可能であることの解説を付した方が良いと意見があった。J-RIMEへの委員として小泉潔理事が担当することで了承された。

10. その他

- ① 小須田茂監事より呼吸器核医学研究会が日本呼吸器学会学術総会と同時開催することについて説明があり、了承された。
- ② 井上登美夫理事長より PET/MRI 装置が薬事承認を得たことを受けて、当学会と日本医学放射線学会の合同で臨床ガイドラインを作成することが了承された。

II. 報告事項

1. 第 52 回学術総会準備状況報告

玉木長良会長より資料(8)に従い説明があった。

2. 第 53 回学術総会準備状況報告

桑原康雄次期会長より資料(9)に従い説明があった。

3. 第 54 回学術総会準備状況報告

畑澤順次々期会長より説明があった(資料なし)。

4. 第 12 回春季大会状況報告

井上登美夫大会長より資料(10)に従い説明があった。

5. 会計報告

阪原晴海理事より資料(11)に従い説明があった。

6. 委員会報告

1) 編集委員会

絹谷清剛理事より資料(13)に従い、メディカルオンラインとの契約、久田賞(選考中)等の説明があった。

2) 教育・専門医審査委員会

宍戸文男理事より資料(22)に従い説明があった。PET 核医学認定医の更新期間内の新規認定

申請を申し出た方がおり、対応を協議した。委員長の判断にお任せする方針となった。産休・育休に伴う更新保留の延長につき、特別な事情を有する場合にのみ2年間の再延長を認める方針となった。

3) PET 核医学委員会

細野眞理理事より資料(14)に従い説明があった。

4) 健保委員会

伊藤健吾理事より資料(15)に従い説明があった。平成24年度診療報酬改定結果のうち、悪性リンパ腫治療効果判定の適用拡大につき、疑義解釈の説明があった。生体検査試案による核医学にかかる生体検査室の分類および費用等(外保連試案2012)に関する説明があった。検査室のコストを根拠に増点を要望する。

5) 広報委員会

報告事項なし。

6) リスクマネジメント委員会

報告事項なし。

7) 放射線防護委員会

松田博史理事より資料(12)に従い説明があった。

① PET 用サイクロトロンに関するクリアランスおよび放射化物質の取り扱いに関する小委員会

千田道雄理事より資料(16)に従い、小委員会の活動(2011.2.7～2012.3.23)について説明があった。

8) 倫理検討委員会

報告事項なし。

9) 学会賞選考委員会

I-1 参照。

10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会

小泉潔理事よりパブコメが出ていると説明があった。

11) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会

報告事項なし。

12) 将来計画委員会

報告事項なし。

13) 分子イメージング戦略会議

千田道雄理事より資料(17)に従い説明があった。

14) 経営戦略委員会

汲田伸一郎理事より2社からの賛助会員加入の説明があった。他社にも賛助会員加入を要請しているとの報告があった。

15) 小児核医学検査適正施行検討委員会

小泉潔理事より小児投与量に関する説明があった。本邦では成人投与量を基に小児投与量を決定してきたが、欧米同様、体重あたりの投与量を決定するように変更する旨、報告があった。

7. ワーキンググループ

佐賀恒夫理事、松田博史理事より資料(18)に従い説明があった。

8. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会

研究会事務局の絹谷清剛理事より資料(19)に従い説明があった。さらに①甲状腺癌の癌登録をしっかりと実施する、②診療実態調査を実施すると追加された。

2) 日本脳神経核医学研究会

報告事項なし。

3) 日本心臓核医学会

玉木長良理事より6/22-23に金沢で開催される研究会の報告があった。

4) 呼吸器核医学研究会

I-10を参照。

5) PET核医学分科会

細野真理事よりPETサマーセミナーについて説明があった。

9. 国外学会等連携

1) 世界核医学会

玉木長良理事より2年後に開催されると説明があった。

2) 米国核医学会

玉木長良理事よりSNM2012にてJSNMのVideo放映(30秒)に関するお知らせがあり、お引き受けする方針となった。

3) アジアオセアニア核医学会

(ARCCNM 兼務)

井上登美夫理事長よりイランで開催されるとの説明があった。

4) 日韓中核医学会

小須田茂監事より次回韓国(済州島)で開催されると説明があった。

10. その他

1) I-131 MIGBの供給について

井上登美夫理事長より資料(20)に従い説明があった。

Ⅲ. 確認事項

1. 前回議事録(案)

2. 理事会日程

第3回 7月31日(火) 12:00～17:00

日本アイソトープ協会

第4回 10月10日(木) 14:00～18:00

ロイトン札幌20階 第52回学術総会会場